

平成 18 年 9 月 1 日 No.2006-2
 社団法人 日本放射線技術学会
 中部部会
 事務局：〒920-0942
 金沢市小立野 5-11-80
 金沢大学大学院
 医学系研究科保健学専攻内
 TEL・FAX 076-265-2541
 URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

会告

(社) 日本放射線技術学会中部部会
 部会長 東村享治
 開催委員長 山本友行

第 41 回中部部会学術大会 開催のご案内

(社) 日本放射線技術学会第 41 回中部部会学術大会を下記の要領にて開催いたします。多数の会員の皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。

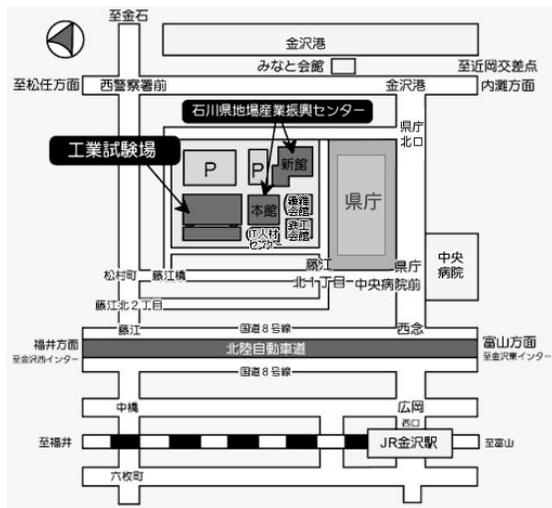
日時： 平成 18 年 11 月 11 日 (土), 12 日 (日)

会場： 石川県地場産業振興センター

〒920-8203 石川県鞍月 2 丁目 1 番地 TEL 076-268-2010

URL <http://www.isico.or.jp/jibasan/zone/index.htm>

問い合わせ先：山本友行
 金沢大学医学部附属病院放射線部
 TEL 076-265-2012, 2010
 tomoyama@med.kanazawa-u.ac.jp



第 41 回中部部会学術大会

= プログラム予定 =

■ 11月11日(土)

○特別講演1：肝胆膵領域の画像診断

金沢大学大学院医学系研究科 松井 修 先生

○ワークショップ【フィルムレス化の現状と問題点】

1) 大規模病院(800床)でのフィルムレス化の効果と問題点

金沢大学医学部附属病院 堀井純情

2) 中規模病院(500床)でのフィルムレス化の効果と問題点

岡崎市民病院 田中徳明

3) 小規模病院(200床以下)でのフィルムレス化の効果と問題点

朝日総合病院 安達登志樹

4) 今後のストレージの問題点と予測

富山大学附属病院 伊藤 一

○ランチョン教育セミナー1

「臨床解剖学&診断学」－頭頸部のCT・MR検査において知っておきたいこと－

金沢大学大学院医学系研究科 鈴木正行 先生

○会員研究発表

○各研究会

○中部部会年会

○懇親会

■ 11月12日(日)

○特別講演2：「マンモグラフィの現状と将来」

愛知県がんセンター中央病院 堀田勝平 先生

○モーニングセミナー LCDモニタの最新技術動向と問題点

株式会社ナナオ 前田一哉 先生

○ランチョン教育セミナー2

「臨床解剖学&診断学」－胸腹部のCT・MR検査において知っておきたいこと－

金沢大学大学院医学系研究科 鈴木正行 先生

○会員研究発表

(社) 日本放射線技術学会中部部会 学術大会演題募集要項

以下のように学術大会会員発表の演題を募集致します。会員の皆さまの多数の演題申込をお待ち致しております。今年から発表方法が変わりましたのでご注意ください!

1. 発表方法 (各自持参パソコンでの発表のみで行ないます)

1) 発表時間 口述7分以内+質疑応答3分以内とします。

2) パソコン+液晶プロジェクタ 一面映写のみ。

今回は、PC持参による発表に限ります。記憶媒体(CD-R, MO, USBメモリー等)のみでの発表はできません。お間違えないようにお願いします。プレゼンテーションファイルは『Microsoft Power Point』で作成してください。

- ・ 発表会場のプロジェクタはSVGA(800×600)、60Hzしか対応できません。
- ・ 入力端子はVGAコネクタ(ミニD-SUB15ピン)です。機種によっては特殊な形状のコネクタや超小型のものががありますので、専用のディスプレイアダプタを忘れないように持参下さい。
- ・ スライドノートなどを利用したい方は、プリントアウトして持参してください。
- ・ 以下の項目を各自のPCから外部モニタに正しく出力できることを確認しておいてください。
 - a. 個々のPCによって設定方法が異なりますから、発表当日までにリハーサルしておいてください。
 - b. 機種によりパソコンとプロジェクタの2画面同時出力ができないことがあります。
 - c. 動画を使用される場合、動かなかったり、本体の液晶画面に表示されてもPCの外部出力に接続した画面には何も表示されない場合があります。

※接続がうまく行かなかった場合、発表時間の延長は行いません。

※スライド、VTRは使用できません。パソコンを用いて対応してください。

2. 応募方法

- 1) 応募資格は、中部部会正会員および学生会員です。
まだ会員になられていない場合は、演題申込と同時に入会手続きを行って下さい。
入会申込は技術学会のホームページ(http://www.jsrt.or.jp/web_data/nyukai.html)より行ってください。
- 2) 演題申込は中部部会のホームページ(<http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>)より行ってください。(昨年度よりホームページ受付のみとなります)
- 3) 発表演題抄録：【目的】【方法】【結果】【考察】を300～400字で簡潔にお書き下さい。
これは事前に座長に送付すると共に、部会ホームページに掲載する予定です。
- 4) 当日持参されるパソコンのメーカー名、機種名、OS名をお書きください。
- 5) 受領確認：演題申し込みが完了した方には受領通知を3日以内にメールします。
もし受領確認の連絡がない場合には部会事務局までご連絡ください。
- 6) 学生会員の場合は指導教員の連絡先を記載して下さい。

3. 応募期間 2006年9月1日(金)～9月20日(水)24:00まで

4. 演題登録 URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

演題申込に関するお問い合わせは、部会事務局 (jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp) まで電子メールでお尋ね下さい。

会告

平成19・20年度中部部会役員候補者受付について

中部部会・選挙管理委員会
選挙管理委員長 安達登志樹

部会運営細則および部会役員選出要項に基づき平成19・20年度の部会長1名、監事2名（東海地域から1名、北陸地域から1名）、副部会長3名（東海地域から2名、北陸地域から1名）、理事9名（各県から1名、部会事務所を置く県からの庶務担当理事および財務担当理事各1名）の立候補者または推薦候補者の受付を行います。立候補者または候補者を推薦する部会会員は、下記により届出をしてください。

記

1. 候補者の資格

- (1) 部会正会員の立候補者
- (2) 部会正会員が推薦する候補者（本人の同意が必要）

2. 届出および選出

上記の中から部会年会（平成18年11月11日・金沢市）で選出されます。

中部部会役員に立候補しようとする部会正会員または候補者を推薦する部会正会員は、部会役員選出要項に則り、次項により届け出て下さい。

- (1) 届出期間 平成18年9月12日より平成18年10月11日（必着）まで
- (2) 届出先 〒920-0942 金沢市小立野5-11-80
金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻内
日本放射線技術学会中部部会 選挙管理委員会 宛

(3) その他

- ・立候補届出書等の必要事項は部会事務局で準備します。必要な方は請求して下さい。
- ・各々の役員について、立候補または推薦候補者が定数に満たない時は、部会役員選出要項第5条3に基づき、部会理事会に推薦を求めます。
- ・部会運営細則、部会役員選出要項等でご不明な点は、事務局へお問合せ下さい。

FAX : 076-265-2541

問合せメールアドレス : jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp

メールの件名 : 中部部会役員選挙について

第1回 放射線部門リーダーズセミナー開催
= 専門技術者育成のために今、リーダーに必要なこととは =

今、医療を取り巻く環境は一段と厳しくなり、病院では医療サービスの向上と経営の効率化が進められています。放射線部門も、コスト削減の中でより質の高い技術と安全性を確保する専門技術の確立やスタッフ個々のスキルアップが求められています。又、最近では修士や博士を持つ技師も増えていますが、臨床現場で生かされているのでしょうか。

個々の技術向上に対する取り組みが組織の中で生かされるためには、やはりその部門におけるリーダーの影響は大きいと考えます。人材・機器の有効な活用視点に立ち、技師個々が持つ可能性を最大限に引き出し、現場で生きる専門技術を身につけさせることが大事ではないでしょうか。そこで今回は、経営効率、安全性、さらに質の高い技師を育成するために今、リーダーに必要なこととは何か、全国で活躍されている先生方を招き、必要なマネジメント力や手法等で事例を挙げていただき、参加される先生方と共に討論したいと思います。このセミナーは事前参加登録となりますが、各施設の部門長・技師長及び興味のある方は、ぜひご参加いただきたいと思います。

日時：平成18年10月14日〔土〕 13:00～18:00

場所：石川県地場産業振興センター 第3研修室

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地 TEL 076-268-2010

募集人数：100名（事前登録10月6日締切）

参加費：会員2,000円 非会員3,000円

【内容】

《1. 組織・教育に関するシンポジウム》

	司会 金沢大学医学部附属病院	山本友行
(1) 技師教育と卒後教育の在り方	名古屋大学医学部保健学科	小寺吉衛
(2) 専門技術が生きる組織体制とは	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	富吉 司
(3) 技師における人事・評価制度	福井大学医学部附属病院	東村享治

《2. 安全・経営に関するシンポジウム》

	司会 富山大学附属病院	中村 衛
(1)経営戦略と放射線部門	滋賀医科大学医学部附属病院	増田一孝
(2)放射線部におけるリスクマネジメント	横浜市立大学附属市民総合医療センター	天内 廣
(3)これからの医療制度改革	JIRA経済委員長	野口雄司

《3. 意見交換会》

司会 福井県済生会病院	清水 勲
やわたメディカルセンター	中田 勉

【 申し込み先 】 参加申し込みを希望される方は 事前登録をお願いします。

事前登録方法は、参加登録票にご記入いただき、中部部会事務局まで Fax, 又は E-mail にてお送りください。なお、事前登録は 10 月 6 日(金)までとさせていただきます。

●中部部会事務局 FAX:076-265-2541 E-mail: jsrtcb@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp

【 問い合わせ先 】

担当者 福井大学医学附属病院放射線部 東村享治 TEL: 0776-61-8467(直通)

FAX:0776-61-8154 E-mail: higashi@fmsrsa.fukui-med.ac.jp

=====

《参加登録票》

第1回 放射線部門リーダーズセミナー:平成 18 年 10 月 14 日(土)に参加します。

申し込み日時	平成 18 年 月 日 ()
参加登録者	氏名 : 施設名 : 職名 : 連絡先 TEL: FAX E-mail :
メッセージ等 (相談・聞きたいこと等)	

*受け取り後に確認通知を送りますので FAX 又は, E-mail は必ず記入して下さい。



研究会のご案内

中部超音波検査フォーラム

第1回初心者講習会(腹部:講義・実技コース)

超音波検査は、臨床または検診には欠かせない重要な医療検査法の一つです。しかし、診断・検査精度にあまりにも施設間差、個人差が大きいのが現状です。そこで超音波に携わっている人々の技術、知識の向上を目的にセミナーを開催します。初心者講習会、レベルアップセミナーを企画し消化器・体表臓器・循環器など各領域の講演や実技指導します。講師は、ボランティア精神で奉仕しますので、超音波検査に携わっている方は、お気軽にご参加ください。

日時：平成18年9月18日(祭日：敬老の日)

会場：ガーデンビル2階・3階 会議室

JR名古屋駅 徒歩10分

(名古屋市中村区名駅南1-4-12)

参加費：2,000円

定員：25名(定員なりしだい締め切ります)

対象者：全くの初心者、検査に自信のない方、
学生の方

申込先：kct-otobe@octn.jp 乙部(おとべ)

FAX：0584-75-5715

大垣市民病院 超音波室 乙部(おとべ)

*日本放射線技術学会 中部部会 超音波画像
研究会(代表世話人:川地)主催です。

*問合せ先:JSRT 超音波画像研究会事務局
(中部超音波検査フォーラム)0584-81-3341 内4256

【プログラム】

- 9:00-9:10 開会の挨拶・オリエンテーション
9:10-9:50 講義：解剖とチェックポイント
(胆嚢・胆管)
9:50-10:00 ハンズオン(胆嚢・胆管)
10:10-10:50 講義：解剖とチェックポイント
(膵臓・腎臓)
10:50-11:00 ハンズオン(膵臓・腎臓)
11:00-12:00 実技指導：胆道・膵臓・腎臓
(1グループ;5名予定)
13:10-13:50 講義：解剖とチェックポイント
(肝臓・脾臓)
13:50-14:00 ハンズオン(肝臓・脾臓)
14:10-14:50 講義：チェックポイント
(消化管・その他)
15:10-15:20 ハンズオン(消化管・その他)
15:20-16:20 実技指導：肝臓・脾臓・消化管
(1グループ;5名予定)
16:20-16:30 質疑応答
16:30-16:50 解説：症例に学ぶ

第29回画像研究会

デジタル画像物理測定セミナー(実習形式)

第5回「矩形波チャート法によるMTF測定と二次元フーリエ変換法によるウィナースペクトル測定」

昨年度に引き続き、デジタル画像の物理測定セミナーを開催します。

今回は皆さんの関心も高くデジタルシステムにおいて重要なMTF測定とウィナースペクトル測定を行います。実習形式であるため人数に制限がありますので、事前受付形式にて行います。

日時：平成18年9月30日(土)13:00~18:00

会場：名古屋市立大学 医学部研究棟 2階
臨床セミナー室

【内容】

- 1.「解説」矩形波チャート法によるMTF測定
二次元フーリエ変換法によるウィナースペクトル測定(スライド形式)

2. 「演習」 「フリーソフト (Image J)」 と 「EXCEL」 を用いた CR の MTF と ウィナー スペクトル 解析
- ・データ及びソフトはこちらで準備いたします。
 - ・EXCEL の 「分析ツール」 に 「フーリエ解析」 が含まれていない方は、Office の CD-ROM に て追加セットアップをして下さい。

募集人数：20 名程度（定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。）

受講対象者：デジタル画像物理測定の新習者。受講時にノート PC（OS は Windows XP）を持参可能な方。ただし、Windows ME では Image J で画像が開けません。ご注意ください。

締切：平成 18 年 9 月 8 日（金）

申込先：rakunny@med.nagoya-cu.ac.jp に下記事項を記入の上お申込みください。

Subject [件名] に「画像研究会参加申込み」とご記入ください。電話での受付はいたしません。

記入事項：氏名、所属、連絡先「電話、E-Mail アドレス」を本文に記入して下さい。

*E-Mail アドレスは正確に記入して下さい。

*申し込まれた方全員に参加の可否のメールを返信します。返信がない場合は再度下記まで問合せをして下さい。

問合せ先：

名古屋市立大学病院 中央放射線部 國友まで

E-Mail rakunny@med.nagoya-cu.ac.jp

放射線防護研究会／アンギオ研究会

合同シンポジウム

【テーマ】

「血管造影において FPD は被ばく低減に有効か」

【内容】

1. 講演 仮題「Angio 装置も I. I. から FPD 時代へ」
島津製作所 田中氏
2. シンポジウム

メーカー 4 社、ユーザー 2 施設を予定。

日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）

会場：石川県地場産業振興センター 新館

第 22 回中部部会 乳房画像研究会

「使用経験者と共に DR マンモグラフィについて語ろう」

現在、デジタルマンモグラフィの普及が著しく、デジタル画像出力施設数がアナログ画像出力施設数を追い越す勢いです。デジタル画像出力システムには先駆的な存在である CR、CR+位相コントラスト法の PCM がありますが、最近 FPD を使用した DR システムも普及しつつあります。今回はこの DR システムの使用経験と DR 画像のモニタ診断の経験を講演していただき、DR マンモグラフィの現状と今後の展望について共に考えたいと思います。

皆様の参加をお待ちしております。

日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）10:00～11:30

会場：石川県地場産業振興センター 新館

【プログラム】

講演 1：「DR マンモグラフィの撮影技術の現状と今後の課題」

- A) セノグラフ 2000D の使用経験
南砺市民病院 中村義則
- B) LORAD M-IV (Selenia) の使用経験
福井県立病院 西出裕子
- C) MAMMOMAT NovationDR の使用経験
金沢大学病院 林 智子

講演 2：「DR マンモグラフィのモニタ読影の現状と今後の課題」

金沢大学病院放射線科講師 川島博子先生

第 8 回放射線治療研究会

今回は、高精度放射線治療について講演を行いたいと思います。IMRT は線量評価が大変難しく、IMRT を実際に行っている施設は限られているようです。今回は、金沢大学の菊池先生に特別にお願いをして、物理学と生物学のそれぞれの角度で IMRT についての講義を受けたいと思います。また、高精度放射線治療装置として、ノバルリスを設置して治療を行ってられる、浅

ノ川病院の太郎田先生には、実際の治療計画や装置の精度管理等についてのお話をお願いしております。今後の高精度放射線治療を行う時に参考になるかと思っておりますので、多数の皆様の参加をお待ちしております。

日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）

会場：石川県地場産業振興センター 新館

1 講演

司会：金沢大学医学部附属病院 倉田雄一
IMRT の物理学・生物学

金沢大学医学部保健学科 菊地雄三先生

2 講演

司会：名古屋大学医学部附属病院 青山裕一
ノバリスの使用経験

浅ノ川病院 太郎田融先生

CT・MR 合同研究会

超急性期脳梗塞治療薬として rt-PA（アルテプラゼ）静注療法が承認されて以来、その診断の確実性が強く求められ CT および MRI の役割は重要となっています。

今回、本分野での第一人者としてご活躍しておられる富山大学医学部脳神経外科学教室の桑山直也先生をお迎えして、その診断・治療について、また、CT、MRI の画像データがどのような役割を果たしているのかについてご講演を頂き、一方、研究会からは的確な診断情報を提供する技術について CT、MR の両部門から報告します。

日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）

会場：石川県地場産業振興センター 新館

講演：「急性期脳梗塞の診断と治療

—CT と MRI の役割—

富山大学医学部脳神経外科学教室

助教授 桑山直也 先生

技術講演・ディスカッション

「急性期脳梗塞の診断と治療のための CT 技術」

あさひ総合病院 安達登志樹

「急性期脳梗塞の診断と治療のための MRI 技術」

講師調整中

関連研究会のご案内

平成 18 年度近畿部会

デジタル画像評価セミナー

日時：平成 18 年 11 月 12 日（日）9：00～17：00

場所：奈良県立医科大学附属病院中央放射線部

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL 0744-22-3051（代表）

【内容】

1) 講義：デジタル画像の基礎

2) 実習

- ・各モダリティからの raw data の取り出し
- ・資料の作成
- ・画像評価

定員：30 名（定員が限られていますので各施設内で調整のうえ、1 施設 1 名の応募とさせていただきます）

参加費：5,000 円（テキスト、昼食代金含む）

申込期間：平成 18 年 9 月 1 日（金）～9 月 30 日（土）

申込方法：近畿部会ホームページから参加申込みをしていただくか、近畿部会雑誌掲載の専用申込用紙をコピーし必要事項を記入して FAX にて送信してください。

問合せ mail アドレス：sciences@jsrtkinki.jp

*注意事項等、詳細は近畿部会ホームページをご覧ください。

(社)日本放射線技術学会中部部会

ビーム中部 2006 年度 第 2 号

発行：東村享治

編集：小山修司、石森佳幸、石田智一